



## VBL 研究プロジェクト紹介

<p>テーマ</p>	<p>次世代シーケンサーを用いた 個人ゲノム解析による疾患リスク判定</p>
<p>研究者</p>	<p>西村 基（医学部附属病院検査部・遺伝子診療部） 曾根原 弘樹（医学部附属病院遺伝子診療部/医学研究院生殖医学教室）</p>
<p style="text-align: center;"><b>予測・治療可能な疾患の予防！早期発見！を目指しています。</b></p> <p>DNA を超並列かつ超高速に解析できる次世代シーケンサーの発展により、個人ゲノム解析を一般の方々に、現実的な金額で提供できる基盤が整いつつある。また、疾患と遺伝子情報に関するデータベースも充実してきている。これにより、治療法や予防法が存在する疾患に関して、発症前に個人ゲノムを解読してそのリスクに応じた医学的選択を行う、個別化医療が現実味を帯びてきた。家系内に複数名のがんや循環器疾患の発症者がいるため、ご自身に発症のリスクがあるかについて不安を持つ方は多い。本事業はそんなリスクや不安を持つ未発症の方に対して疾患の予防・早期発見を目的として個人ゲノム解析を医療者が提供する、「遺伝子の人間ドック」である。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>個人ゲノム解析を人々の健康に ゲノムクリニック</p>  </div>  </div> <p>プロジェクトメンバーの曾根原弘樹医師は、千葉大学成果活用型ベンチャー「ゲノムクリニック」として2017年3月に本事業を起業した。また、西村基医師（臨床遺伝専門医）は千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部において遺伝医学に関する豊富な経験を有している。本事業は、予防/治療法があるなどリスクを知るメリットが大きく結果は知らされるべき、と ACMG（アメリカの代表的臨床遺伝学術団体）ガイドラインに記載された27疾患59遺伝子を対象に事業を展開している。疾患未発症の一般の方を対象として、次世代シーケンサーを用いた個人ゲノム解析を行い、複数の疾患リスクを評価する事業は日本初の試みの一つである。さらに、遺伝医療に詳しい医師が医療レベルでのゲノム解析とフォローを行う試みも日本初であり挑戦的である。つまり、ゲノム解析の結果、疾患リスクが高いと判定された方には引き続いての医学的フォローが必要なため、非医療者が行う既存の消費者むけ遺伝子検査に対して大きな優位性がある。ゲノムクリニックは今後も個人ゲノム解析の価格破壊と高精度な疾患リスク判定を目指し、解析法の改良、社会的基盤の整備を目指して研究を行っていく予定だ。</p>	